

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業の概要

事業名	一般国道472号 婦中バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	富山県
起終点	自：富山県婦負郡婦中町富崎 至：富山県婦負郡八尾町奥田	延長	2.3km		
事業概要	<p>一般国道472号は、新湊市を起点として婦中町、八尾町を経て岐阜県郡上市に至る幹線道路である。県中央部を縦断し県内の産業、観光を支える重要な路線であるとともに、婦中町や八尾町から一般国道359号を経て県都富山市に至る主要アクセス道路となっている。婦中バイパスは北陸自動車道富山西ICと八尾町を結ぶ延長2.3kmの2車線道路である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>一般国道472号婦中バイパスの現道は道路幅員が狭いにもかかわらず、自動車、自転車及び歩行者交通量は多く、交通事故が頻繁に発生している。さらにJR高山線と平面交差しているなど、交通のネックとなっている。このため、婦中バイパスの整備により、交通の円滑化と安全確保を図るものである。</p>				
全体事業費	13億円	計画交通量	5,900台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見
婦中町、八尾町ならびに国道472号整備促進期成同盟会から本区間の整備について強い要望がある。

事業採択の前提条件
費用対便益：便益が費用を上回っている

事業評価結果

費用対便益	B/C	2.2	総費用：13億円 （事業費：10億円 維持管理費：3億円）	総便益：30億円 （走行時間短縮便益：28億円 走行費用減少便益：1億円 交通事故減少便益：1億円）	基準年 平成16年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)		
		事業費変動	B/C= (事業費 %)	B/C= (事業費 %)		
		事業期間変動	B/C= (事業期間 %)	B/C= (事業期間 %)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	注目すべき影響はない。		
		事故対策	○	<p>死傷事故率が当路線で最も高い区間での事業である。 【死傷事故率】約81件/億台キロ（現況） 〔富山県平均：約83.8件/億台キロ（約1.0倍）〕</p> <p>【事故率曲線】富山県内センサス区間の上位3割に含まれる。 【その他の特徴】富山県内国道472号中第1位の死傷事故率区間である。</p>		
		歩行空間		小中学校の通学路（当該路線利用通学者数約540人）において狭小な（一部歩道なし）区間に自転車歩行者道（幅員W=3.5m）が設置される。		
	社会全体への影響	住民生活		富山医科薬科大学付属病院への時間短縮に寄与する道路である。（八尾町市街地～富山医科薬科付属病院の所要時間22分16分）		
		地域経済		<p>主要な観光地である八尾町（おわら風の盆ほか）（年間観光客入込数691千人）へ北陸自動車道富山西ICからの直結によりアクセスが向上する。</p> <p>富山八尾中核工業団地と北陸自動車道富山西ICが直結する。（富山ICまたは小杉ICまで20～30分 富山西ICまで14分）</p>		
		災害	-	注目すべき影響はない。		
環境		-	注目すべき影響はない。			
	地域社会		八尾町、婦中町から日常生活圏の中心である富山市へのアクセス向上が見込まれる。（富山市と八尾町間の所要時間 現状41分 整備後37分）			
事業実施環境		-	注目すべき影響はない。			

採択の理由

費用便益比が2.2と、便益が費用を上回っているとともに、地元自治体をはじめとする合意が得られており、事業執行の環境が整っていることから、事業採択の前提条件が確認できる。
また、当該事業箇所の課題である交通事故対策、通学路の安全対策について、改善は大きく、その効果は高いと判断できる。さらに、富山県の主要観光地の一つである八尾町や、主要な工業団地へのアクセス向上が見込まれることから、地域経済活性化への効果も高いと判断できる。
以上より、本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。